

この長柄様が印象的な
バスホールは、洗練モダンなセンスで
仕立てられる。ナイスな第一印象。

Isola di
CAPRI

J. K. PLACE CAPRI

スーパースタイルリッシュな趣で、
海に染まる滞在
JKプレイス・カプリ



1. 視界をささぎるものな(270度、ナレニア海の眺望を我がものにできるのが、このホテルの自慢。これぞカプリブルーなり。2. ダイニングには巨大な青磁の壺が！ こんなお茶目もミケーレ・ボナンの遊び心だろうか。テーブルリネンの白を引き立てる、淡い色使いの内装はさすが、心地よも端正です。3. ホテルはプライベートなヴィラといった感じ。ゲートもさりげない主張で、邸宅感を演出する。

マリーナグラデを見下ろす、崖の上のホテルは瀟洒な邸宅なる風情白とカプリブルーを基調にすっきりと、だが温もり感をプラスした内装が爽快だ。イタリア的モダンブリテッシュな仕上がりは、他のホテルとは一線を画す。ちよっとこのホテルは、零開気違います。

内装は、フェラガモが所有するホテル・ルンガルノも手がけた、建築家のミケーレ・ボナンによる、オリエンタリストも加えた、スタイリッシュな空間は納得の零開気だ。

スタッフはほとんどが若くてキビキビ系、それぞれのユニフォームも、スポーティな白+ブルー系でまとめられている。豪華クルーザーのクルーといった感じだろうか。で、ゲストはクルーザーのオーナー気分。カプリの海のパノラマに浸って、ただのんびりと過ごすのが素敵。ホテルを我が別荘と思うのが最適だ。コンパクトなホテルであり、繁華街の喧嘩とも無縁。だからこそ、プライベートなカプリを存分に味わえる。

カプリ地区やアナカプリ地区には、シャトルの送迎で出かけられる。カーブだらけの狭い山道を、キムンキムン飛ばすドライバー。少々やんちゃな気もするが、気のいいスタッフ。これもこのホテルの「らしさ」のひとつかもしれない。

4. 客室は広く、やはりブルーを基調とした内装。部屋によってメインカラーが黄色になったり、色使いは変わるが、すっきりとした雰囲気は変わらず。5. バスルームも青の世界。一瞬アセるのが、トイレットペーパーが見当たらないことだ。ミケーレ・ボナンの美学が許さなかったのか、トイレットペーパーは壁に埋め込まれた扉に隠されている。6. 591がないウェルカムフルーツ&ドルチェ。7. 家具はいずれも控えめで、使い心地のよいものばかり。こういうものが「我が家」感を演出するのだから。



J. K. Place Capri
Via Provinciale Marina Grande 225, Capri, Napoli
☎ +39-081-839-4001
www.jkcapri.com
客室数 / 22室
料金 / JKクラシックルーム €800
ジュニアスイート €1,100, ペントハウス €1,600
日本での問い合わせ先 /
スモール・ラグジュアリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド
☎ 006-311-225-38(平日10時~18時日本語、その他英語)